

JP134 西南諸島（せいなんしょとう）

高知県：宿毛市、大月町

位置	N 32° 44′ E 132° 33′
面積	1,200ha

環境構成【森林／島嶼】

黒潮の影響をうけて温暖な気候となり、比較的高温多雨の気象条件を有しており、亜熱帯植物が多く生育する。海底には造礁サンゴ群が広がり美しい景観をみせ、魚類相も豊富である。沖ノ島は花崗岩からなり、海食崖や急傾斜地が続きそこには海食洞が各所に見られて、面白い景観をなしている。蒲葵島では、ヒゲスゲまたはハチジョウススキを主とする草本群落、ハマビワ、オニヤブソテツの群落、タブノキ群落がみられる。姫島では、ビロウやヤブニッケイやホルトノキ、ウバメガシトベラ群落が分布し、ハマビワ－オニヤブソテツ群落が一部分布する。



写真提供：生態系トラスト協会

選定理由

A1	カンムリウミスズメ
A2	カラスバト

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

県指定鳥獣保護区（姫島、蒲葵島）、国立公園（足摺宇和海）、都道府県立自然公園、自然環境保全地域

保全への脅威

- ・ 森林伐採
- ・ 釣り人の入り込みが多く、それに伴うネズミ類の離島への侵入が懸念される。
- ・ 一部の島ではイノシシ(在来種：島によっては侵入と根絶が生じている)が侵入し、オオミズナギドリの巣穴の破壊等が懸念される。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
カンムリウミスズメについて：環境省モニタリングサイト 1000 事業小島嶼（海鳥）調査
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ モニタリング調査：実施者（環境省、高知県）
内容：環境省モニタリングサイト 1000 事業の小島嶼（海鳥）調査として、山階鳥類研究所によって海鳥調査が実施されている。同事業の森林草原調査の一般サイトが沖ノ島にあり、陸生鳥類のモニタリング調査が実施されている。
高知県により鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査が実施されている。

IBA サイトの保全に関係する、地域のグループ

- ・ 生態系トラスト協会

見られる鳥

見られる鳥	ウミウ、ササゴイ、クロサギ、アオサギ、トビ、キアシシギ、ヤマシギ、アカエリヒレアシシギ、セグロカモメ、ウミネコ、アオバト、フクロウ、アマツバメ、ツバメ、イワツバメ、コゲラ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、シロハラ、ウグイス、キビタキ、メジロ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
--------------	--

※絶滅危惧種については保護上の観点から非公開とした。

* 西南諸島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

関連団体・自治体・施設等

- ・ 日本野鳥の会 高知支部
- ・ (公社)生態系トラスト協会



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GedBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community